

# LONG mer OLIGO

High quality  
and  
Applicable to various purposes

日本遺伝子研究所のロングオリゴ DNA は…

## ▶脱プリン化オリゴ DNA を含みません

独自の「脱プリン化<sup>\*1</sup>オリゴ DNA 除去処理」を施しています。  
脱プリン化オリゴ DNA を含有していると、反応系へ悪影響<sup>\*2</sup>を与えてしまう恐れがあります。  
ポリカチオン detergent 処理により脱プリン化部分を除去する手法によって、弊社では他にない高品質なロングオリゴ DNA の製造をすることが実現しています。

### \* 1 : 脱プリン化とは

鎖長が長くなるほど、強酸性試薬にさらされる機会が増加するオリゴ DNA 合成。強酸性試薬は、プリン塩基(アデニン・グアニン)を脱プリン化してしまう危険性を持っています。脱プリン化された部分は、熱などの負荷によって簡単に切断されてしまいます。このような脱プリン化塩基を含むオリゴ DNA 鎖の除去処理をすることは、ロングオリゴ DNA 製造における重要なポイントです。

### \* 2 : 脱プリン化オリゴ DNA による反応系への悪影響とは

『リアルタイム PCR における脱プリン化オリゴの影響』のデータを弊社ホームページに掲載しています。

⇒[詳細はこちら](#)

## ▶さまざまな用途に適しています

ロングオリゴ DNA の用途は様々。SNP の導入やタグ配列挿入のような短鎖長の取り込みを目的とする場合や、コントロールとしてご使用いただく場合など、弊社ではどんな用途にでも適用できる品質を維持しています。

## ▶150mer まで品質保証

原則 150mer までのロングオリゴ DNA 合成を承っております。  
それ以上の鎖長をご所望の場合は、まず一度ご相談ください。品質や収量などを相談、調整させていただきますことも可能です。